

第3回「地域フォーラム」概要

開催テーマ 「誰もが健やかに暮らせる地域づくり」

日時 平成30年9月24日(月・祝) 10時00分～12時00分

会場 王寺町地域交流センター リーベルホール

| 資料説明 | 荒井奈良県知事 |
|------|--|
| | <p>ベッドタウンとして発展してきた奈良県は、他府県と比べて人口減少や高齢化が急速に進んでいます。このような状況の中、どのような人口構造になっても、健康に暮らせるよう、奈良県では健康寿命日本一を目指しています。</p> <p>健康寿命を延ばすためには、県民自らが、年齢や健康度に合わせた健康行動をとる必要があります。バランスの良い食事、適度な運動、適切な社会行動の3種類の健康行動を促進しています。バランスの良い食事に関する取組では、こども食堂等で県産食材を活用した「おいしい食事」を提供する仕組みの構築を目指しています。適度な運動に関する取組では、「まほろば健康パーク」の機能強化等、運動環境の整備を進めています。適切な社会行動に関する取組では、橿原市と王寺町に健康ステーションを設置し、「おでかけ健康法」の普及に努めています。</p> <p>一方、救急搬送受入体制の改善や県立病院の再編整備等、医療提供体制の整備も進めています。また、住まいを中心に医療・介護・生活支援サービスが行き届くよう、地域包括ケアシステムの構築を目指しています。さらに、医療の安定経営に向けた取組として、国民健康保険の県単位化、医療費適正化等を推進しています。</p> <p>今後も、「誰もが健やかに暮らせる地域づくり」を、市町村と協働しながら積極的に行っていきたいと考えています。</p> |

| 資料説明 | 森三郷町長 |
|------|--|
| | <p>三郷町では、国連で採択された「SDGs(持続可能な開発目標)」として、人にもまちにもレジリエンス(強靱=きょうじん)な環境未来都市の実現に向けて取り組んでいます。特に、社会面においては、介護予防・認知症予防の地域への展開として、町内各所でスッキリサテライトやサロンを開催しています。</p> <p>また、健康な状態と介護が必要な状態の中間に位置する方を早期に発見して、改善のアドバイスを行うフレイル健診を、大阪大学と共同で実施しています。これらの推進により、健康寿命日本一を目指します。</p> |

| 資料説明 | 今中上牧町長 |
|------|---|
| | <p>上牧町では、高齢期を健やかに充実して暮らすための地域づくりを進めています。ヘルシー教室では、5カ月間のサイクルで健康相談、保健指導を実施し、カリキュラム終了後も、参加者が自主的な活動をされています。認知症対策としては「おれんぢカフェ」を開催し、認知症の患者とご家族が地域住民と関わることで、安心して暮らせる居場所づくりを目指しています。</p> |

また、独居高齢者を直接訪問し、健康状態を把握して、病気の早期発見、早期治療につなげています。

| | |
|------|--------|
| 資料説明 | 平井王寺町長 |
|------|--------|

王寺町では、「歩く健康づくり」をテーマに取り組んでいます。ウォーキング実践教室の実施や県健康ステーションの設置等、歩いて健康状態をチェックする取組を実施しています。さらに、地域の特性を活かして、県や三郷町との協力による大和川ジョギングコースや、明神山の整備等を行いました。

今後は、身近なところで多くの人々が協働して、さまざまな取組をしていただくための環境整備やリーダーづくりを進め、より良い高齢社会を目指します。

| | |
|------|--------|
| 資料説明 | 岡井河合町長 |
|------|--------|

河合町では、地域の人々が自然に集まり、お互いを助け合うコミュニティの場として「楽しい茶の間 ゆとり」があります。そこは、地域の居場所、オレンジカフェ（認知症カフェ）、食事懇談会等の機能があります。また、運営は全てボランティアによるもので、地域で仲間づくりをしようという人が自然に集まり、たいへん和やかな雰囲気のところとなっています。

今後、こういった場をニュータウンにもつくっていくサポートを進めていきたいと考えています。

| | |
|----|---------|
| 意見 | 荒井奈良県知事 |
|----|---------|

健康寿命日本一を達成するためには、個人、市町村、県が競争しながら、がん死亡率や野菜摂取量等の各数値を良くしていく必要があります。「健康一番になろう」という目標を共有し、それぞれが工夫しているところを見習って、好事例を横展開していくことで、健康の奈良モデルを進めていきたいと考えています。

| | |
|---|--|
| <p>質疑応答①</p> | <p>河合町で「楽しい茶の間 ゆとり」以外にも地域の居場所がありますか。このような住民主体の活動を広げていくために、今後どのように取り組まれますか。</p> <p>また、県ではどのような支援を行っていますか。(河合町在住者)</p> |
| <p>(岡井河合町長)</p> <p>地域の各集会所で、月1回程度、サロン運営をしています。住民主体の活動を広げるため、平成29年度から社会福祉協議会に委託し、生活支援コーディネーターを配置しました。今後も、住民が気軽に相談できる居場所づくりの支援をしていきます。</p> <p>(荒井奈良県知事)</p> <p>河合町では、ニュータウンに移住してきた第一世代の方、特に退職された男性の居場所をどうするかが大きな課題ではないかと思います。まずは、住んでいる地域に関心を持つきっかけとして、さまざまなイベントに出向いてもらい、それが健康行動にもつながるような工夫をしていきたいと思っています。</p> | |

| | |
|--|--|
| <p>質疑応答②</p> | <p>三郷町と大阪大学との共同研究のように、大学等の研究機関と共同してフレイル健診を行っている事例はありますか。(三郷町在住者)</p> |
| <p>(森三郷町長)</p> <p>千葉県柏市と東京大学が全国で初めてフレイル健診の共同研究をされました。三郷町と大阪大学の共同研究は、全国で2例目となります。</p> | |

| | |
|--|--|
| <p>質疑応答③</p> | <p>援助や配慮を必要としている方々のためのヘルプマークの認知度を上げるために、県や上牧町ではどのような取組を実施していますか。(上牧町在住者)</p> |
| <p>(荒井奈良県知事)</p> <p>障害者施策として、県では、奈良交通に働きかけて、身体障害者、知的障害者の方だけでなく、精神障害者の方も運賃を半額にさせていただきました。障害のある方もない方も一緒に暮らそうという気持ちの表れがヘルプマークなのではないかと思っています。</p> <p>(今中上牧町長)</p> <p>上牧町では、まず職員への周知・理解を深めるため、「あいサポート研修」を近々実施する予定です。また、ヘルプマークを悪用する事例もあるようですので、悪用されない社会を構築していくよう努めたいと思います。</p> | |

| | |
|--|--|
| 質疑応答④ | 王寺町では健康寿命奈良県一、奈良県では健康寿命日本一を目指していますが、今後どのようなことを重点的に推進していきますか。（王寺町在住者） |
| <p data-bbox="256 465 448 499">（平井王寺町長）</p> <p data-bbox="240 512 1353 640">王寺町では、誰でも気軽に歩ける環境整備を推進しています。また、健康ポイントのようなポイントカードシステムについても検討しています。さらに、健康づくり推進員といったリーダーを養成し、地域ぐるみで健康運動に取り組んでもらうよう進めています。</p> <p data-bbox="256 703 480 736">（荒井奈良県知事）</p> <p data-bbox="240 750 1353 878">西和地域はニュータウンとして発展してきた地域の特性もあり、気軽に健康行動ができる環境が不十分な面もありましたが、今回、各町で環境づくりが進んでいることがわかりました。こういった市町村の取組を横展開していくことが県の役割だと考えています。</p> | |

＜当日回答できなかった質問に対する回答＞

| | |
|-----|--|
| 質問① | <p>王寺町介護福祉施設は、依然として他市町に依存しています。ようやく特養施設が4月に開設し、有料住宅を新設する予定と聞きましたが、他市町と比較すると少ないと思います。多くの方が、他市町に所在する施設で入居・デイサービス等を利用しています。現状の高齢化は介護制度発足時から予見できていたはずで、早急に充実を求めます。</p> <p>当該施設の近隣の市町ごとの施設数を知りたいです。(王寺町在住者)</p> |
|-----|--|

どのような介護サービスをどの程度、被保険者に提供するかについては、3年に一度、保険者である王寺町が学識経験者等で構成される介護保険事業等策定委員会に意見を求めながら、事業計画を策定しています。

王寺町では、現在、第7期介護保険事業計画に基づいて、介護予防や介護サービスの充実を目指しているところです。ご意見にある特別養護老人ホームの開設もその一環であり、他にも、介護付有料老人ホームの整備や在宅介護を支えるサービス等の充実に取り組むことを計画しています。

また、王寺町の介護保険事業計画については、王寺町のホームページでご確認いただくことも可能です。

(<http://www.town.oji.nara.jp/material/files/group/7/7kikaigohokenjigyokeika ku.pdf>)

なお、奈良県の施設整備については、4つの圏域に分けて、奈良県高齢者福祉計画及び奈良県介護保険事業支援計画に基づき、整備計画が行われています。特別養護老人ホームの整備については、施設整備に関わる補助等の支援が実施されていますので、今後も高齢者のニーズに応じた施設整備の検討に努めます。

その他の施設数等については、奈良県ホームページの「介護サービス施設・事業所一覧」をご確認ください。

(<http://www.pref.nara.jp/dd.aspx?itemid=83282#itemid83282>)

| | |
|-----|---|
| 質問② | <p>王寺町社会福祉協議会の体制・活動充実について、自助は当然かも知れませんが共助・公助も不可欠です。ボランティア活動ネットワーク構築が必要ではないかと思います。共助（自助）のボランティア団体の把握も未熟かつ不十分ではないでしょうか。県との連携も、町の関係課がメインでは力不足ではないかと危惧しています。</p> <p>王寺町が把握している町内のボランティア団体について、また、ネットワーク化の具体策があれば知りたいです。(王寺町在住者)</p> |
|-----|---|

現在、王寺町社会福祉協議会で把握している町内のボランティア団体は132団体で、そのうち、環境保全に関する活動団体はC.C.C（クリーン・クリエイト・サークル）で83団体、花いっぱい運動で18団体と全体の76%を占めております。その他、地域安

全関係では、「緑のおじさん」「交通安全母の会」、保健福祉関係では、「GET元気」「サロンやすらぎ」、子ども健全育成関係では、「子育てママのどんぐり」「子ども食堂」、文化芸術関係では、「オペレータークラブ王寺」「王寺観光ボランティアガイドの会」等、町内ではさまざまなボランティアグループが活動されています。

今後、ボランティアの重要性はさらに増すことから、ボランティアに関する情報を一元化し、情報提供の充実を図るとともに、支援が必要な人と支援を行える人をつなげる仕組みを構築します。また、ボランティア活動に取り組む人同士が交流できるよう、活動の拠点となる場の確保と提供に努めます。

質問③

介護事業を受けている時、利用者と事業提供者間で意思疎通が十分でないことや、そのことで不満を持ったり、また、事業を実施する上でいろんな課題を生じさせないための公平な第三者機関として、利用者、提供者が相互に活用できる苦情解決機関というものはありますか。なかった場合、早急につくってください。お願いします。利用者側から言えば、利用者の判断で利用事業所を転々と変える必要がないようにという思いがあります。(王寺町在住者)

介護保険制度において、県国民健康保険団体連合会（国保連）が「苦情処理機関」として位置付けられています。

そのため、国保連内に介護サービス苦情処理委員会が設置されており、その委員会は、中立公平な立場で活動できる学識経験者等の委員会で構成されています。

国保連では、この体制の下、寄せられた苦情申し立てに対応しております。

※奈良県国保連「苦情処理機関」相談受付連絡先：

フリーダイヤル 0120-21-6899